

Contents

- ▶ 中国市場情報 1
巨大市場—中国の消費実態
日中投資創研株式会社 代表取締役社長 浅香哲男氏
- ▶ 特集「技を育てる、技を磨く、技を伝える」 2
①～九州新幹線全線開業3周年記念～
これぞKAGOSHIMA! 自慢の逸品大発表会 2
②工芸品の新たな市場展開に向けた取り組み 3
- ▶ 流通最前線 4
・東武百貨店池袋店「第33回 大鹿児島展」を終えて
・消費税増税に対応する百貨店の動向について
- ▶ 会員紹介 5
・鹿児島酒造株式会社
・溪山窯南州工房
- ▶ 特産品協会インフォメーション 6
・B to B新システム「かごしま伝・匠・美の館」の活用について
・ふるさと特産運動推進指導員の声



本場大島紬の良さを伝え、着用いただく機会を増やすため、2月18日に鹿児島市内で開催された「本場大島紬と鹿児島県の食を楽しむ夕べ」には、134名が来場され、賑わった。

中国市場情報 China market information

浅香 哲男氏

Profile



日中投資創研株式会社 代表取締役社長
上海市人民政府上海市外商投資企業協会 高級顧問
1971年三菱商事株式会社入社。1991年4月上海事務所副所長、1994年4月東京支社繊維・資材グループ次長(兼)同中国市場統括リーダー兼務、1996年4月生活産業グループ消費材流通企画部次長、2002年3月三菱商事株式会社退社。同年9月日中投資創研(株)設立、代表取締役社長就任。
上海市人民政府上海市外商投資企業協会高級顧問、上海市青浦区人民政府対外経済委員会名誉顧問、江蘇省無錫市開發管理委員会親商大使、江蘇省揚州經濟技術開發区高級顧問、上海市嘉定区人民政府親商大使、鹿児島県特産品協会顧問などを務められている。

巨大市場— 中国の消費実態

中国の内政問題、日中関係の悪化等々と難しい局面にはあるが、中国の市場は確実に拡大を続けている。富裕層・中間層の人口が3億人に達しており、海外旅行に出掛ける中国人が今年は1億人を突破するという。外交上の友好国は選ぶ事ができるが、隣国を選ぶ事は出来ない。やはり仲良くする事が望まれる。

2012年の中国政府発表の小売統計では20.5兆円(270兆円)とあるが、モルガンスタンレーの調査ではこれに1.6兆ドルが計上漏れと言う。中国では個人消費の多くが企業の経費として計上されている。支出を全て掌握されるのを嫌うため、高額所得者の家計が調査対象から外れており国内総生産(GDP)統計は富裕層を過小評価している。これら漏れている数字を加えると中国の小売総額の実態はなんと430兆円にものぼる。ちなみに同年の日本の小売総額は136兆円である。近年、中国の消費は毎年13%伸びているので昨年は恐らく485兆円と推察され、これに昨年の中国人海外旅行支出11兆円を足すと500兆円という数字になる。恐るべし

中国消費である。今後この傾向は益々顕著となる事は間違いない。

我が国としては中国人の旅行者のみを当てにするのではなく積極的に中国市場に打って出る事が望まれる。鹿児島県からは東京よりも上海の方が近い距離に在る。地の利を活かし官民総力を挙げて対中輸出振興に取り組む時代が到来したと思われる。

昨年暮に日本食が世界で5番目として世界無形文化遺産に正式に認定されたこともあり、今後、中国でも日本食は益々注目される存在となることは間違いないと思われる。鹿児島県には健康に良い旨い焼酎、新鮮な海の幸、旨い大地の恵み、等々素晴らしい食品が数多くある。

中国には古来より商売の基本用語として、天の時(タイミング)・地の利(地理的条件)・人の和(人脈)の三条件を重んずる。小職も県特産品協会の中国担当顧問を拝命頂いておりますので、今後も微力ながら最大限尽力させて頂く所存であります。